

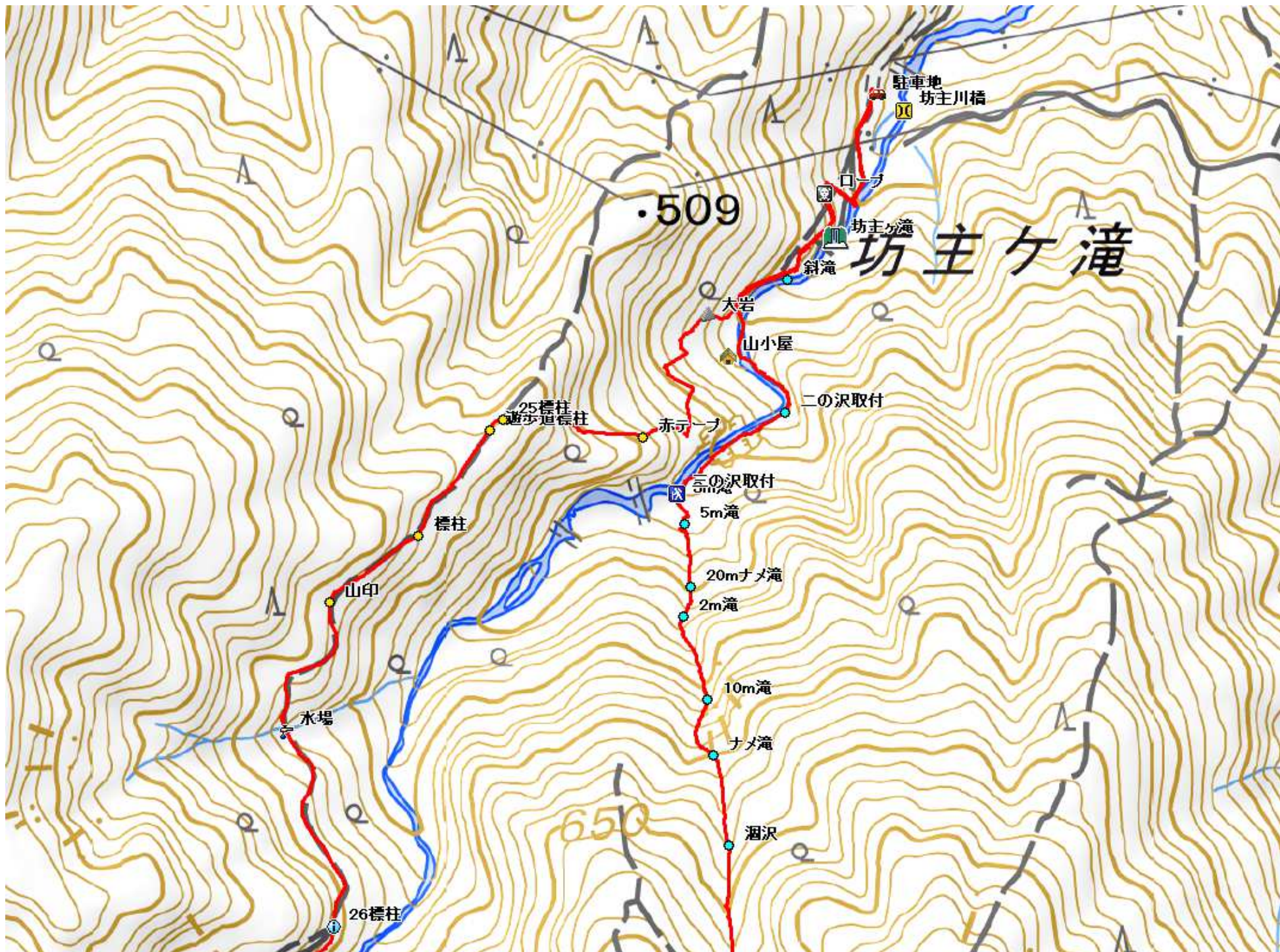
210727 にしやま 西山(816m)

5.5 km 4時間45分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。

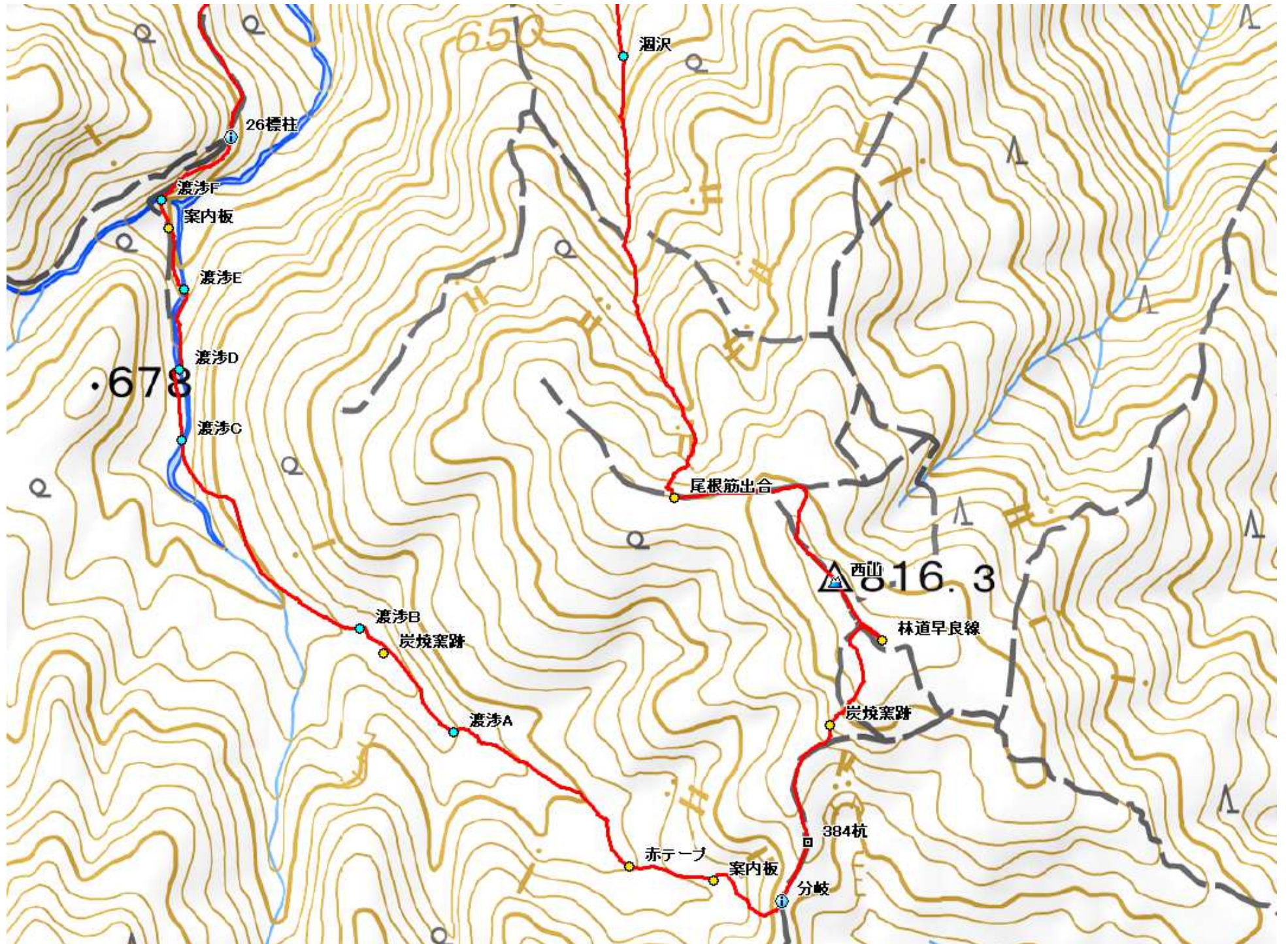


- 駐車地
- ↓ 0:04
- 坊主ヶ滝
- ↓ 0:40
- 三の沢取付
- ↓ 1:54
- 尾根筋出合
- ↓ 0:10
- 西山(816m)
- ↓ 0:16
- 分岐
- ↓ 0:43
- 26標柱
- ↓ 0:20
- 25標柱
- ↓ 0:34
- 坊主ヶ滝
- ↓ 0:04
- 駐車地

詳細図 上部



詳細図 下部



西山(816m)

2021.07.27(火) 晴れ

駐車地→坊主ヶ滝→三の沢取付→尾根筋出合→西山(816m)→分岐→26標柱→25標柱→坊主ヶ滝→駐車地



16年振りに来てみると、林道早良線と坊主川橋が出来ていた。



橋の手前に駐車地があり、傍に登山口がある。



遊歩道を道なりに進んで行く。



坊主ヶ滝が見えた。



落差15mの坊主ヶ滝。



右岸側に14体の石仏が並んでいる。



建物横から巻道へ入る。



ロープ場をトラバースする。



坊主川に5m程の斜滝を見る。



クサリ場を越える。



沢が間近になった所から入渓する。



小滝を越えて行く。



まだ山小屋は建っていた。



此处で自作のワラジを履く。



右岸へ渡渉し斜滝10mの山際を抜ける。



南東に向かう二の沢取付を見て、南西に90°折れる。



6m程の滝が現れる。



その上部は弱いゴルジュとなっている。



右岸側を進む。



固定ロープを抜ける。



三の沢取付に出会う。



始まりは3m滝で直登して抜ける。



5m滝は滑るので、左岸を高巻く。



20mナメ滝はワラジのフリクションを効かせて遡って行く。



2m滝は直登して抜ける。



以前に比べ明るさが減り、苔付き岩が増えていた。



核心部の10m滝は黒光りする滝に変わっていた。



上部迄上がるが、滑るので右岸側へ巻いて戻る。



沢幅も狭くなりトヨ状の流れとなる。



岩盤のナメ滝を遡く。



伏流となった潤沢を行く。



ヤブ沢となるが沢心を進む。



傾斜が緩んで来た。



上方に尾根筋が見えた。



尾根筋に出会う。



赤テープを辿り西山へ向かう。



西山(816m)に到着。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



山名板。



昭和41年選点された四等三角点:西。



尾根筋を南東へ向かう。



林道早良線の案内板を見て引き返す。



20m程引返し、南西へ下る。



赤テープを辿る。



東側に炭焼窯跡を見る。



黄テープが垂れる、明瞭な踏跡を辿り南へ向かう。



384杭を見る。



分岐に出会う。



縦走路方面の案内板。



坊主川源流方面へ進む。



沢筋を下る。



「坊主川源流コース」と書かれた案内板を見る。



赤テープを辿る。



渡渉A 南から流れ込む支沢を渡渉する。



西側に炭焼窯跡を見る。



沢へ入る。



渡渉B 左岸から右岸へ渡渉する。



右岸沿いに進む。



渡渉C 右岸から左岸へ渡渉する。



渡渉D 左岸から右岸へ渡渉する。



渡渉E 右岸から左岸へ渡渉する。



「坊主川源流コース」の案内板を見る。



渡渉F 坊主沢右俣に出会い、右岸から左岸へ渡渉する。



緩やかに上って行く。



26標柱に出会う。



水場を通過する。



岩に刻まれた山印を見る。



沢側に立つ標柱を通過する。



道幅が広くなり平坦路となる。



傍に遊歩道標柱を見る。



沢側に25標柱を見る。



25標柱の先から尾根筋へ進む。



支尾根を東下って行く。



赤テープを拾いながら下って行く。



スギ植林斜面を下って行く。



大岩の右を通過する。



坊主沢に出会い、左岸に行く。



右下に斜滝を見送る。



左岸を緩く上って行く。



坊主ヶ滝に下る。



再度、坊主ヶ滝に立ち寄る。



緩やかに下って行く。



駐車地に帰り着いた。



油山

坊主川橋から見る油山。



ミズタビラコ



ヤマアジサイ



ミゾホオズキ



アキノタムラソウ



アキノタムラソウ 白花



ダイコンソウ



ヒメジョオン